

2016年4月16日
熊本県地震における
沖縄赤十字病院の活動状況



2016年4月16日(土)

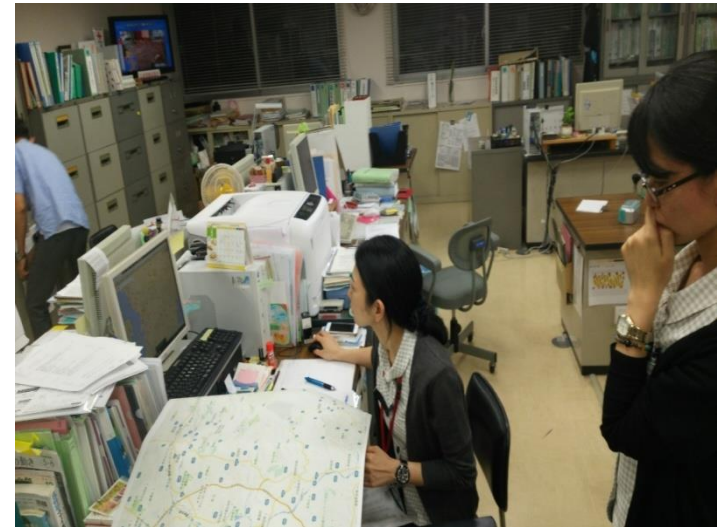
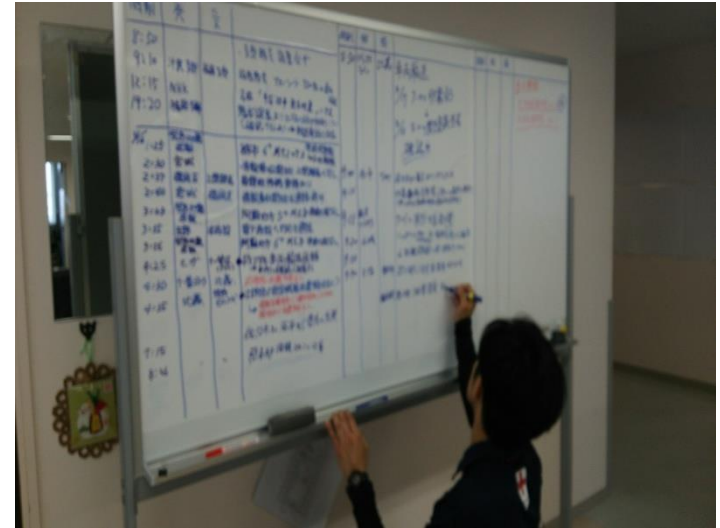
01:46ごろ 熊本県熊本地方
マグニチュード6.0
(震度6弱)

03:03ごろ 熊本県阿蘇地方
マグニチュード5.8
(震度5強)



2016年4月16日(土)

発災直後より、病院職員、
日本赤十字社沖縄県支部
職員が集まり、情報収集を
行う。



2016年4月16日(土)

04:25 厚生労働省DMAT事務局よりDMAT派遣要請。

07:30 沖縄赤十字病院DMAT隊として、
佐々木医師(救急部長)および西平業務調整員
(事務部)が沖縄県庁へ出動し、沖縄県DMAT調
整本部を立ち上げる。
(沖縄県DMAT調整本部長:佐々木秀章医師)

沖縄県庁職員と沖縄県内DMATチームの
派遣調整を行う佐々木医師(写真左)



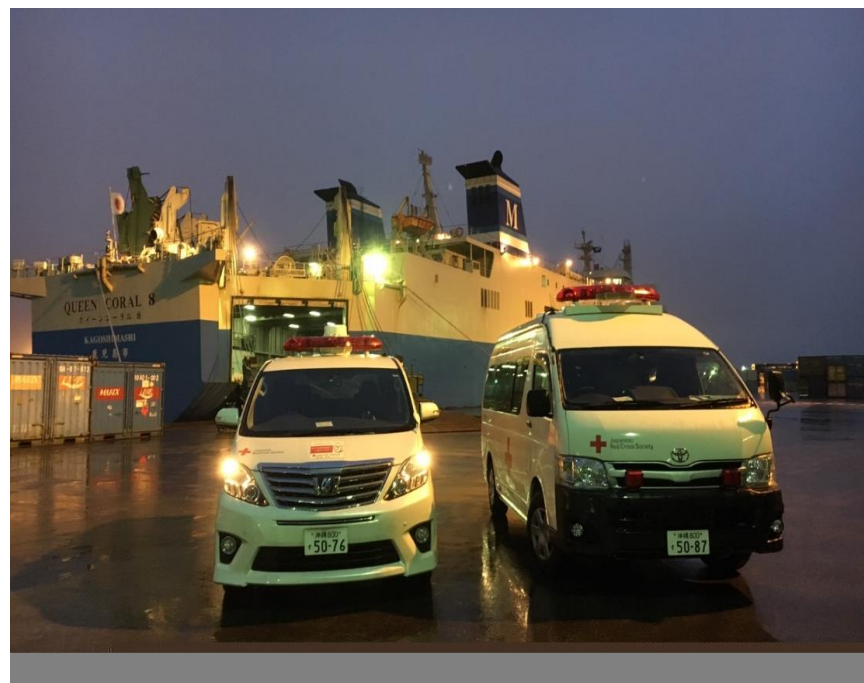
2016年4月16日(土)

院内においても
救護班派遣に向けて準備を
すすめる。



2016年4月17日(日)

07:00 沖縄赤十字病院 **救護班第1班(2名)**として、
仲西看護師(手術室)、下地主事(事務部)
が出動。
緊急車両をフェリーに乗せ、鹿児島県へ向
かう。



2016年4月18日(月)

07:30 沖縄赤十字病院 救護班第1班(4名)が出動。

- ・豊見山医師(外科第一副部長)
 - ・土屋看護師(救急師長)
 - ・下里看護師(ICU)
 - ・志良堂薬剤師(薬剤部)
- 旅客機にて鹿児島空港へ。



11:00 フェリーで到着した班員2名と合流し、
緊急車両にて熊本赤十字病院へ向かう。

DMAT(ディーマツト)とは

災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略してDMAT(ディーマツト)と呼ばれています。

医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

当院には12名の隊員が在籍しています。

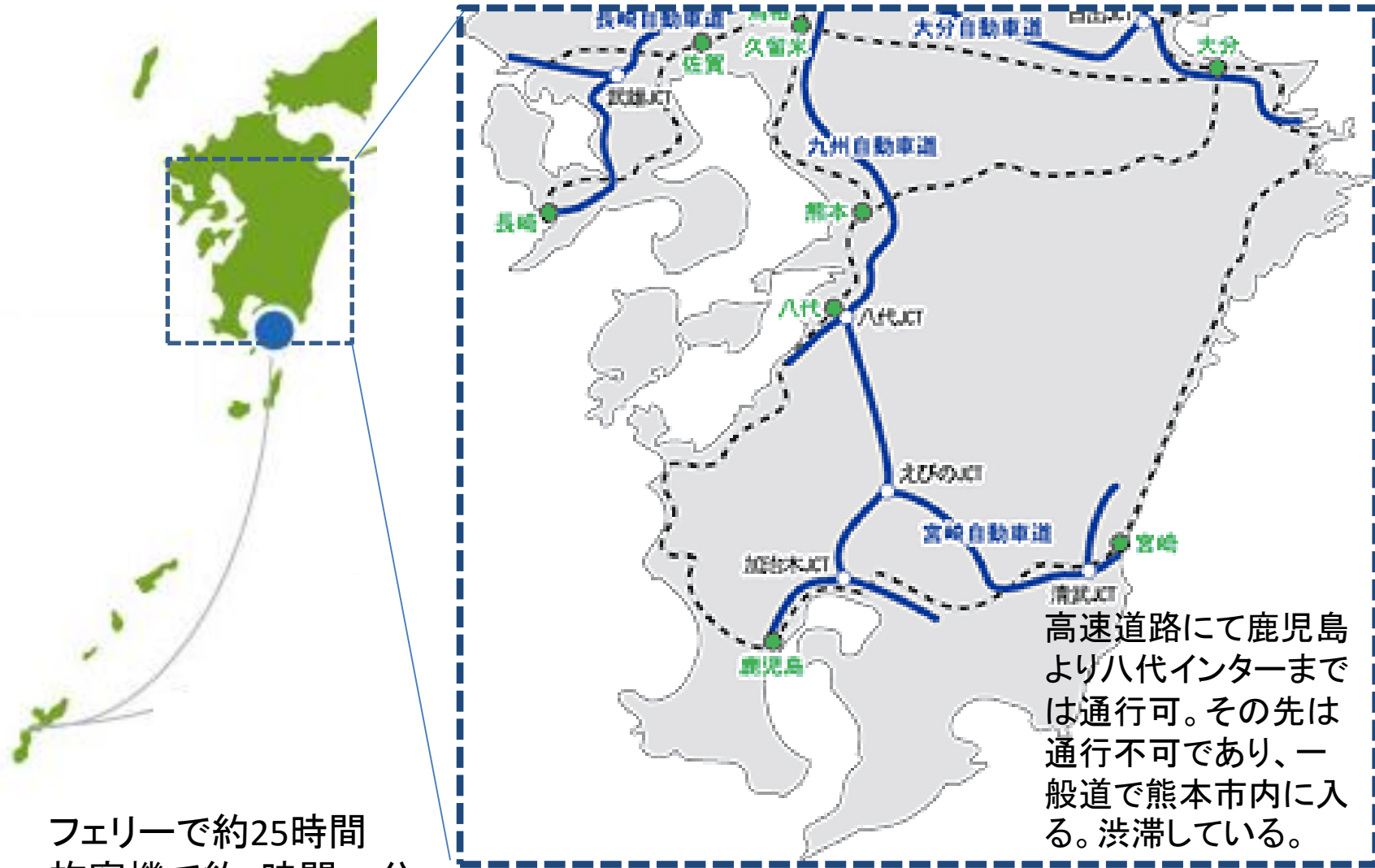
救護班とは

災害時に備えて、赤十字病院の医師、看護師などを中心に編成される救護班を全国で約500班(約7000人)編成しています。

災害が発生すると、ただちに救護班(1班あたり医師・看護師ら6人)やdERU(国内型緊急対応ユニット)を派遣し、救護所の設置、被災現場や避難所での診療、こころのケア活動などを行います。

当院では、5班(30名)体制で災害に備えています。災害時には日本赤十字社沖縄県支部と協働します。

救護班の移動状況



2016年4月18日(月)

- 18:00 熊本赤十字病院に到着。
- 19:00 全体ミーティングに参加。
- 20:00 チームミーティングを行う。

【4月19日(火)予定】

時間: 06:00～診療開始。

場所: 上益城総合体育館。

【地域状況】

道はうねりとても危険。車両2台で向かう。先導は、ボランティアの車両。橋が落ちれば帰れないと。水食料と寝袋は持参となる。



- 24:40 予定変更の連絡。

4月19日(火)は熊本日赤の救急室での活動。

2016年4月19日(火)

07:45 熊本赤十字病院の救急外来にて活動開始。

18:04 熊本八代 震度5強。
病院も揺れたが、被害なし。

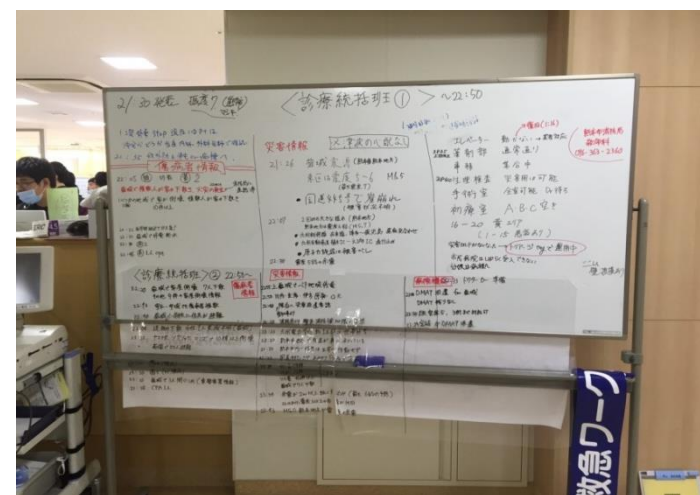
19:00 全体ミーティングに参加。

20:00 勤務終了。

20:47 震度5弱。

【4月20日(水)予定】

06:00～14:00 益城町体育館の
避難所にて救護活動。



2016年4月20日(水)

05:33 益城町総合体育館へ 向かう。
地割れあり。全壊の家屋も見られる。
橋の損壊あり。

07:00 益城町総合体育館の避難所で診
療開始。

14:00 次隊へ業務を引き継ぐ。

15:00 熊本県支部へ到着。活 動報告後、
福岡県へ移動。

【4月21日(木)予定】

15:00～福岡発飛行機にて、沖縄へ帰任。



2016年4月21日(木)

15:05 福岡空港を出発。

17:52 沖縄赤十字病院に到着。

18:00 豊見山医師より帰院報告。
第2班へ引き継ぎを行い、
第1班解散となる。

救護活動を終え帰院した第1班メンバー



出迎えて無事を喜ぶ病院職員



第2班に申し送り。被災地の状況や必要な資機材を伝える。

